

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業	
事業名	劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」			
目的・内容	日本国内で高い人気を誇る劇団四季のミュージカルを招聘することで、舞台芸術の素晴らしさを体感する機会を提供し、愛好者の拡大を図る。 演目は珠玉のガーシュウィン・ナンバー、多彩なダンス、笑いあふれるラブ・コメディで贈る「クレイジー・フォー・ユー」。			
開催日時	平成23年7月18日(月・祝) 開演17:30			
会場	とりぎん文化会館 梨花ホール			
入場料 (友の会・団体)	SS席 8,000円	S席 6,000円	A席 5,000円	B席 3,000円
集客状況	入場者数 1,488名	設定席数 1,960席	集客率 76%	
事業費状況	予算額	収入 150,000円	支出 368,000円	収支比率 41%
	決算額	収入 324,700円	支出 445,120円	収支比率 73%
来場者アンケート (主なもの) 回答者数 364名	<ul style="list-style-type: none"> ・大変素晴らしかったです。ミュージカルを県内で中々見る機会がないので、一流の劇団のミュージカルを今後も公演してほしいです。 ・楽しい内容であつという間に時間が過ぎたような気がします。歌もダンスも素晴らしく、感動しました。 ・始めから終わりまでずっと楽しかったです。ハーモニーが綺麗でした。奥行きを感じさせるセットもおもしろかったです。 ・初めてのミュージカルとても楽しかったです。 ・ミュージカルはあまり関心がありませんでしたが、今回は観たくなり、楽しみにしていました。期待通りで素晴らしかったです。 ・客のマナー以外は言うことなし。(携帯電話を見る・鳴らす、おしゃべりなど) 			
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元のマスコミと共催することで、事業を効率的に進めることができ、結果、入場者率・収支比率ともに目標数値を上回ることができた。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の来場者が22%と少なく、男性鑑賞者獲得の方策を考えていく必要がある。 ・財団として新聞やテレビ広告とは別の切り口での広報も行う必要がある。 ・鑑賞マナーの悪さを指摘する声があった。 			
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団四季の実力と人気に、財団とマスコミとの明確な役割分担によって、協働作業やPRも行き届き、40代から50代の鑑賞者を中心に動員することができた。 ・劇団四季ということもあり、いろいろな層の鑑賞者がたくさんあり、はじめての鑑賞者も3割以上あり、今後のリピーターへのつながりを期待させる。 ・動員、反応ともに成功で、「東日本大震災」などで鬱屈した世相を束の間でも吹き飛ばすエネルギーがあった。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性鑑賞者の割合を上げる手立てはないものであろうか。例えば、夫婦割引や60才以上の方の割引など。 ・中部・西部からの鑑賞者にとっては、2日連続のステージ鑑賞は容易ではなく、友の会同時購入割引のメリットはあまりない。一つ一つのステージの割引の方が中部・西部の鑑賞者にとってメリットがあると考え。 			
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・友の会会員や一般県民を対象にアンケートを実施して、男性鑑賞者が求めているものをリサーチするとともに、男性を対象にチケット割引券のプレゼントなどの新たな割引特典を一部公演で導入し、男性関係者の拡大を目指す。 ・財団事業において少ない観客層である20～30歳代が読む情報誌への広告掲載やソーシャルメディアの活用などを行う。 ・当面は鑑賞マナーガイドを全公演で配布、表示板の設置、スタッフのプレート表示及び声掛け、開演前・休憩時のアナウンスを行い、鑑賞マナー向上に努める。また、注意する際はスタッフが対応する旨を鑑賞マナーガイドに記載する。 			